

製造施設等変更明細書（二種冷凍施設）

1. 変更の内容

--

2. 変更の目的及び理由

--

3. 既設設備の届出状況

年月日	内容
年 月 日	高压ガス製造届
年 月 日	高压ガス製造施設等変更届

4. 冷凍能力

変更前	撤去	新設	変更後
R t /日	R t /日	R t /日	R t /日

5. 製造施設の位置及び付近の状況

別紙 _____（平面図及び立面図）に示す。

6. 製造施設の構造の設計図

別紙 _____（平面図及び立面図※）に示す。

※変更機器及び変更箇所を明らかにしたもの

7. 製造施設の設備の配置及び配管の状況

別紙 _____（平面図及び立面図※）に示す。

※変更箇所を明らかにしたもの

8. 技術上の基準への適合状況

別紙 _____（技術基準対応表）に示す。

9. 工事完了予定日 _____年____月____日

10. 前回の高圧ガス製造施設明細書の写し

別紙 _____ (変更箇所アンダーライン) に示す。

11. 工事施工業者

名 称			
所 在 地			
電 話 番 号			
担 当 所 属 氏 名			
工 事 認 定 業 者	認定区分番号		認定年月日

12. 申請及び届出者連絡先

名 称			
所 在 地			
電 話 番 号			
担 当 所 属 氏 名			

1.3. 製造設備の明細

種 類	製 氷	冷 蔵 ・ 冷 凍	冷 房 ・ 暖 房	化 学 用	試 験 研 究	そ の 他 ()						
設 置 状 況	定置式 ・ 移動式 (車両登録番号:) 車種: ()											
冷 凍 方 法	直接膨張式 ・ 間接式 (ブライン:)											
製 造 方 法	冷 凍 方 式	元 冷 凍 式		冷 媒								
	圧 縮 方 法	往復式 (段) ・ 回転式 (段) ・ スクリュー式 (段) 遠心式 ・ 吸収式 ・ 自然循環式 ・ 自然還流式										
	冷 却 方 式	水 冷 式 ・ 空 冷 式 ・ 蒸 発 式 ・ 吸 収 式		ヒートポンプ式	採 用 ・ 非 採 用							
ユ ニ ッ ト 型	ユ ニ ッ ト 型 ・ 非 ユ ニ ッ ト 型											
一 日 の 冷 凍 能 力	冷 凍 ト ン		冷 媒 封 入 量		k g							
設 計 圧 力 (MPa)	高 圧 部	機 器 型 式 名		製 造 番 号								
	低 圧 部											
圧 縮 機	記 号	気 筒			回 転 数 (min ⁻¹)	ピ ス ト ン 押 し の け 量 (m ³ /h)	冷 凍 能 力 (Rt)	原 動 機 (kW)	台 数	安全装置の種類		製 作 所 名
		径 (mm)	行 程 (mm)	数						口 径 (mm)	作 動 圧 力 (MPa)	
	A											
B												
容 器 及 び 凝 縮 器	記 号	品 名	形 式	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 × 管 板 厚 (mm)	製 作 所 名	台 数	安全装置の種類			主 な 材 料		
							口 径 (mm)	作 動 圧 力 (MPa)	溶 融 温 度 (°C)			
	a											
	b											
	c											
d												
耐 圧 気 密 試 験	記 号	製 造 番 号	耐 圧 試 験 圧 力 (MPa)		気 密 試 験 圧 力 (MPa)		試 験 年 月	試 験 場 所				
			高 圧 部	低 圧 部	高 圧 部	低 圧 部						
	A											
	B											
	a											
	b											
c												
d												
機 器 の 気 密 試 験	機 器 の 構 成 (記号で記入)		試 験 圧 力 (MPa)		試 験 年 月	試 験 場 所	上 記 以 外 の 安 全 装 置			種 類		
			高 圧 部	低 圧 部								
機 器 製 造 業 者	所 在 地											
	会 社 名											

(備考)「安全装置の種類」は、次に示す略記号で記載する。

バネ式安全弁：S、高圧遮断スイッチ：HP、高低圧スイッチ：DP、可溶栓：FP、油圧スイッチ：OP
断水リレー：WP

14. 製造施設の基準

付近の火気設備	有・無	ボイラーの伝熱面積				m ²	
		火気からの距離				m	
警戒標等の表示	高圧ガス製造施設であることを示す警戒標 (運転表示板への記載を含む)			有・無	掲示する内容 (例: 冷凍機械室)		
	立入禁止の警戒標 (KHK 基準)			有・無			
	火気禁止の警戒標 (KHK 基準)			有・無			
	異常時の措置、運転表示板 (推奨事項)			有・無			
通風・換気 (屋外へ)	窓の面積			m ²	強制換気装置	m ³ /min	
圧縮機、配管の防振	振れ止め	有・無	フレキチューブ	有・無	防振装置	有・無	
機器の防錆塗装	有・無						
冷媒系統圧力計	高圧	有・無	低圧	有・無	油圧	有・無	
バルブ、配管の表示	バルブの開閉方向		有・無	安全弁元弁の固定及び常時全開札		有・無	
	冷媒配管の表示			有・無			
	その他の配管 (KHK 基準)		冷水 (ブライン) 配管の表示		有・無		
			冷却水配管の表示		有・無		
操作空間の確保	前面	m	側面	m	裏面	m	
消 火 器	能力単位	型 (薬剤充填量		kg)	数量	本	
機械室の出入口	2カ所以上 (KHK 基準)		有・無	1カ所と開口部 (KHK 基準)		有・無	
耐震アンカーボルト (推奨事項)	有・無						
安全装置自動制御装置	安全弁等の放出管	有 (放出管径: m m) (開口部の位置: 当該室内・屋外・除害設備内)					
		無 (当該室内の限界濃度の確認 有・無)					
	ガス漏えい 検知警報設備	有 (個数: 個) (ランプの点灯点滅、警報を発する場所:)					
		無					
	除害設備	有・無 (除害方法:)					
	ユニット型に係る 自動制御装置 (冷媒共通)	高圧遮断装置・低圧遮断装置・油圧スイッチ・過負荷保護装置・液体凍結防止装置					
		水冷式凝縮器	冷却水断水保護装置	有・無	ポンプとのインターロック		有・無
		空冷式凝縮器	冷却ファンとのインターロック		有・無		
	ユニット型に係る 自動制御装置 (アンモニア)	緊急停止装置		有・無	ガス漏えい検知警報設備		有・無
		緊急遮断装置		有・無	除害設備		有・無
緊急移送装置		有・無	保安電力等		有・無		
高温遮断装置		有・無					
特記事項							